

スピナッチの19

メス 2019年3月24日生 | 芦毛 | 大井・中道啓二厩舎 | 谷川牧場生産



一口価格：13,200円 ※地方募集馬は競走馬保険の加入はありません 募集口数：1000口 【競走馬出資金総額 1,320万円】



● 牧場コメント (北海道・谷川牧場 谷川寿郎氏)

BTCと当牧場の分場とで何回か環境を変えながら育成を進めてきました。BTCでは15-15までは進んでいましたが、ちょっとまだ芯が入っていないような印象がありましたので、現在は砂が深くて負荷がかかる分場のダートトラックコースで体力強化に努めています。あまり膝の形が良くない馬ですが、調教を進めていて問題はないので気にしないで良いのかなと思っています。ただ、まだ体も幼いので、秋くらいまではじっくり進めてあげたいと思っています。お母さんもそうでしたが気性は真面目でとても扱いやすいですね。母系にはインカンテーションがいるようにダートで期待している血統ですし、クロフネの最後の世代になりますので、活躍に期待しています。

POINT

2021年はソダシ(桜花賞)、レイバパレ(大阪杯)とクロフネの血を引く2頭の牝馬が競馬界を席卷。外国産馬へのダービー開放元年の2001年に父クロフネが見せた存在感そのもので、その影響力は途切れることなく日本の血統図に根付いていますが、いよいよクロフネ産駒も最後の世代となりました。母スピナッチはJRAで3勝を挙げ、伯父にはインカンテーションと良血の本馬。本来であればクラブの目玉として中央募集となってもおかしくない血統馬ですが、カタログの写真をご覧頂くと分かる通り前肢のコンフォメーションにやや気になる所があり、また馬体の成長をじっくり待ってあげたいタイプでもある事からタイムリミットのない地方競馬でのデビューを選択致しました。そんなこちらの心配をよそにここまでトラブルなく順調に育成は進んでおります。大きなスケールを感じる本馬には中央地方の垣根を越えた活躍を期待しております。